WS101 言語認知研究再考
ー心理学の視点から見るー

企画者	広島修道大学	増田 尚史
企画者	東京工業大学	Joyce Terry
司会者	広島修道大学	増田 尚史
話題提供者	武庫川女子大学	井上 雅勝
話題提供者	東京大学	広瀬 友紀 #
話題提供者	東京工業大学	Joyce Terry
指定討論者	中京大学	笥 一彦

概 要

言語の認知は、心理学をはじめとして、言語学、脳科学、情報工学など多くの学問分野における中心的テーマの一つである。しかし、それがゆえに言語認知研究には、これらの学問分野の知識・技法の習得が必須である。さらに、総合的な理解のためには、様々な言語単位（語、文、文章など）に対する処理特性や心的表象（形態、音韻、意味、統語など）についての知見を総覧し、個別言語の特性にも精通する必要がある。しかし、これらを一人で行うことは容易ではないため、大学院生などはこの問題へ取り組むのに躊躇し、研究者は互いの専門領域間の意思疎通に困難を覚えている。本ワークショップの目的は、このような問題を取り除くための手がかりを探り、言語認知研究に心理学としてどのような貢献ができるかを再検討することにある。そのための端緒として、今回は、語の連想ネットワークや文理解における曖昧性解消過程を研究されている方々に話題を提供していただき、単語処理と文処理の連続性や、統語処理と意味処理の相互作用に関する議論を深めたい。